

子どもの予防接種はなぜ必要なのか

法律で定められた義務

病気には、とても強い感染力を持つているものや合併症などを起こす危険が高いものがあります。予防接種は、そういった病気にかかることや感染するのを防ぐために、法律で義務づけられています。接種時期は、病気にかかりやすい時期を考慮して定めているので、その期間内に受けることが望ましいです（下表を参考にしてください）。また、集団生活に入る前に、できる予防接種は済ませておきましょう。

1回で終わらない

予防接種の種類によっては、何回か受けなければならぬものがあります。1回の予防接種で免疫が来ないことや出来ても時間とともに免疫の力が弱くなることもある

からです。そういうときに再びワクチンの刺激を与えることで、免疫を強固なものにすることが出来ます。麻しん・風しんワクチンは、確実な免疫をつけるため、法律が改正された2回接種になっています。また、24年度までは中学1年生と高校3年生に、追加接種が必要となります。

中高生になると、部活動などで忙しかったり、親と予防接種を受けに行くことに恥ずかしさがあつたりするかもしれません。しかし、感染力が強いうえに、重い合併症を起こす可能性が高い病気ですから、ぜひ予防接種を受けましょう。ワクチンの種類によつては、他の予防接種が受けられるようになるまでの間隔が違いますので注意してください。

予防接種には集団接種と個別接種があります。個別接種は、個人の都合

に合わせられるので、集団接種を優先させていただきます。予防接種のスケジュールは、状況に合わせて柔軟に変更しましょう。

子どもたちのために

「予約日に子どもの体調が突然悪くなって、それ以降忘れていた」「仕事が忙しくて都合がつけられない」さまざま理由で予防接種が遅れてしまう人がいます。子どもの体調と自分の都合を合わせることは、難しいかもしれませんが、小さな子どもにとっては、保護者を守ってもらえなければ病気を防げません。必要な時期に、必要な予防接種を受けさせてください。

予防接種後一定の期間内に、体に異常が起きる場合もあります。病気にかからないためのワクチンですが、まれに悪影響

定期予防接種

予防接種名	対象年齢	注意点など	接種間隔
BCG	生後3～6カ月未満に1回。3～4カ月健診当日に接種	接種期間が短いので、優先的に接種してください	4週間たてばの接種が受けられます
ポリオ	生後3～90カ月の間に2回	3カ月～1歳半の接種が望ましい	
麻しん 風しん	1期：1歳～2歳未満の間に1回	1歳を過ぎたらと覚えてください	
	2期：小学校入学前の1年間に1回	1期と間隔が空くのでお忘れなく	
	3期：中学1年生の年に1回	※24年度まで	
	4期：高校3年生の年に1回		
3種混合 百日咳 破傷風 ジフテリア	初回～3回目、追加を生後3～90カ月の間に接種	初回～3回目は3カ月～1歳半の間が望ましい	1週間たてばの接種が受けられます
2種混合 破傷風 ジフテリア	11歳を過ぎてから13歳になるまでの間に1回	3種混合のうち2種の免疫を強固なものにします	

※任意予防接種（ここではインフルエンザについて）
 新型インフルエンザは優先接種対象順に接種中です。
 新型、季節性、どちらのインフルエンザも接種する前にかかりつけのお医者さんに相談してください。接種間隔は1～4週間ですが、医学的には4週間たってからほかの予防接種を受けたほうがいいでしょう。

を引き起こすことがあります。もしも予防接種後に体の体調があらまら、接種してもらった医療機関や役場保健福祉課に相談してください。

予防接種は健康を支える手段の一つ。普段からの健康管理が一番大切です。基本的な生活習慣を整えましょう。バランス

の良い栄養、適切な運動・休養・睡眠で体の抵抗力を上げて、病気に負けない体づくりをしてください。

▼問い合わせ先
 保健福祉課
 健康づくり業務
 ☎(62)2115



大好きなママとお姉ちゃんの結蘭ちゃん(写真右3歳)の間でご機嫌な陽臥くん

家の周りにお友だちは、ほとんどが女の子。その子たちと一緒に遊ぶのでままごとやお人形が大好き。「もうちょっと男らしくなってほしいな」とお父さんは心配しているのだとか

ひゅうが 山崎 陽臥 くん

平成20年4月生まれ
 ～荻原 正人さん・亜弥さん夫婦の長男

「こんにちは！」
 玄関に現れると、いきなり頭を下げて元気よくあいさつする陽臥くん。今日も大好きなお姉ちゃんと元気に遊びます。日中は亜弥さんの実家で、曾祖父の安徳さん・曾祖母のツギ子さんと過ごしています。じいちゃんたちに大好きな砂場を作ってもらいご機嫌です。「外遊びが好きで、畑でもどこでもついでくる。豆を拾ってお手伝いすんだよな」と陽臥くんをやさしく見つめる安徳さん。亜弥さんは「おじいちゃんたちの溺愛っぷりがすごい。結蘭と陽臥の言うことは何でも聞いて、元気に育っている2人です。」

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
 ☎(62)2111

サークル紹介

Circle introduction

紙粘土の塊から花、人形や壁掛けなど、さまざまな物を作り出す紙粘土グループの皆さん。現在会員は14人、クレイクラフト協会教授の小檜山良子さんの指導で第2・4水曜日の月2回、午前9時30分から正午まで活動しています。

「結婚式のウェルカムボードや新築祝いなど、作ったものをプレゼントして喜ばれるのはすごくうれしいです。自分の家にも季節に合わせた物を飾って楽しんでいきます。生きがいと言っているかも」と笑顔を見せたのは副会長の大石静子さん。興味のある人は見学に来てください。

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。毎月一団体ずつ紹介していきますので、希望する団体は総務課秘書広報業務まで問い合わせください。
 ☎(62)2111

紙粘土グループ (河村 里子会長)



(写真左)前列左から河村会長、小松山先生、大石副会長
 (写真右)来年の干支、寅の置物を作製する原さん

先日開催された学びい祭り展示した皆さんの作品

